

これからの季節、今からネズミ、イタチ等の小動物対策を！

昨日（3月5日）は、二十四節気のひとつ『啓蟄』。暦の上では春。生き物が土から出てくる時期となりました。

今回は、先日、点検登録店様対象に開催した勉強会（講師：（有）三共衛研 専務取締役 宮田勉氏）の中から、ネズミやイタチ等の小動物の特徴や対策についてお届けします。

1、ネズミ

日本には約40種類以上のネズミが生息し、建物や暮らしの中で問題になるネズミは、ドブネズミ、クマネズミ、ハツカネズミの3種類です。

ネズミはペスト菌を媒介します。14世紀のヨーロッパではペストが大流行し、ヨーロッパ全人口の3分の1が亡くなりました。

ネズミの特徴は、骨格が小さく、直径1cm位の小さな穴からも屋内へ進入します。人間の食べ物が大好きな半面、非常に警戒心が強く、人間のニオイに敏感。また、延びる歯を削る為に建具や電線等をかじります。

ネズミの侵入を防ぐには、食べ物を放置せず、侵入口をふさぐ事です。

2、イタチ、ハクビシン

イタチは、ネズミや鳥類を食べる肉食動物で、直径3cm位の穴でも侵入します。天井裏に住みつくとなかなか出て来ず、糞や尿の悪臭と騒音に悩まされます。つい最近、イタチの被害に遭った知人曰く、『涙が出るほどの悪臭』だったそうです。

一方、ハクビシンは、夜行性で木のぼりが得意、果物（特にリンゴ）が大好物です。民家の天井や床下、物置に侵入し、糞や尿をいたるところで排泄、積み上げます。糞に果実の種があれば、ハクビシンの可能性が高いです。

イタチやハクビシンの侵入を防ぐには、金網等を張って侵入口をふさぐ事。万が一、侵入した場合は、市区町村へ捕獲許可を取ってから鳥獣保護免許保持者が捕獲します。捕獲してよいのはオスのみです。

小動物対策は、整理、整頓、清掃をまめに行い、侵入口がないかを確認する等、定期的な点検を心掛けましょう。近所に空き家が有る場合は、特に注意しましょう。

点検結果は「登録住宅いえかるて」WEBへのご登録をお勧めします。

尚、先月紹介致しました「戸建住宅修繕積立サポートシステム：モリトくん」の維持管理積立金は、小動物侵入対策や駆除費用としても使えます。

以上

- ※ 維持保全計画、点検の実施についてご質問、ご不明の点は、事務局までお問合せ下さい。
- ※ お住まいのご質問や相談は電話かメールでお寄せ下さい。
- ※ 当支援センターのブログも是非ご覧下さい。<http://hwskouhou.blog81.fc2.com/>
- ※ 空き家や留守宅について管理や活用のご相談お待ち申し上げます。
- ※ 「住宅所有者ID」をお忘れの方や、不明の方はinfo@holsc.or.jpへメールでお問い合わせをお願い申し上げます。登録住宅の説明はHP「<http://www.holsc.or.jp>」をご覧ください。
- ※ 「登録住宅いえかるて」についてご質問や資料をご希望の方、「担当の点検登録店」がご不明の方はinfo@holsc.or.jpへメールをお願い致します。
- ※ 自治会や子供会等へ住まいの出前講座をお受けしています。イベント企画にご利用下さい。
- ※ このメールマガジンをご希望、又は不要の場合は、info@holsc.or.jpへご連絡をお願い致します。